第2740地区　創立／1990年9月29日　認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：香月　章彦 / 副会長：田添　直記 / 幹事：吉野　英樹

持続可能なインパクトを生み出そう



2026～2027年度クラブスローガン

受け継ぎつなぐ奉仕の輪
～みらいをみんなでみつけよう～

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：委員長 / 澤田　磨　副委員長 / 橋口　輝宗
委員 / 鶴田　明敏、西村　浩輝、古川　直記、平岩　義明、岡　光正

本日の出席率９３．６１％：会員数５２名・出席３３名・欠席３名・出席規定免除会員１６名・ビジター６名
前々回の修正出席率８７．０３％：出席３１名・メークアップ０名・

会長挨拶 / 香月 章彦君



皆様、こんにちは。まずは、昨日から本日未明にかけての豪雨、皆様方におかれましては、被害等はございませんでしたでしょうか。もし被害に遭われた方がいらっしゃれば、謹んでお見舞い申し上げます。

本日は、佐世保市内ロータリークラブ会長幹事の皆様、ご来訪誠に有難うございます。

先週の会長・副会長・幹事交代式には、多くの会員の皆様、そして奥様方にもご出席をいただき、誠にありがとうございました。式典を取り仕切っていただいた片桐委員長はじめ式典例会出席委員会の皆様、井上直前SAA、池永副SAAにおかれましては、たいへんお疲れ様でございました。おかげさまで、無事に新年度のスタートを切ることができました。あらためて心より御礼申し上げます。また、前年度の岡会長、芥川副会長、馬渡幹事をはじめ、役員・理事・委員長の皆様、一年間本当にお疲れ様でございました。創立35周年という大きな節目を含む年度を、しっかりと導いていただきましたことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、いよいよ本日から、私の会長年度としての例会が始まります。正直に申し上げますと、会長になったという実感は、まだ半分あるような、ないような気持ちです。ただ、こうしてこの場所に立ち、皆様のお顔を拝見しますと、いよいよ一年が始まったのだなと、身の引き締まる思いがいたします。私は佐世保中央ロータリークラブに入会して以来、多くの先輩方から、ロータリーの楽しさ、難しさ、そして奥深さを教えていただきました。ロータリーは、奉仕活動だけの団体ではありません。例会で顔を合わせ、食事をし、語り合い、時には冗談を言いながら、少しずつ信頼関係を深めていく。その積み重ねが、やがて地域への奉仕につながっていくのだと思います。

今年度の私の思いを込めた言葉は、「受け継ぎつなぐ奉仕の輪 ～みらいをみんなでみつけよう～」です。佐世保中央ロータリークラブには、これまで多くの先輩方が築いてこられた歴史と伝統があります。それを大切に受け継ぎながら、ただ守るだけではなく、次の時代へつないでいきたいと思っています。そして「みらいをみんなでみつけよう」という言葉には、何か大きな方向を示すというより、会員の皆様と一緒に考え、一緒に悩み、一緒に楽しみながら、佐世保中央ロータリークラブらしい一年を作っていきたいという思いを込めています。クラブ運営方針につきましては、後ほどあらためてお時間をいただいておりますので、その中でお話しさせていただきます。未熟な会長ではございますが、明るく、楽しく、そして佐世保中央ロータリークラブらしい一年になるよう、精一杯努めてまいります。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Report 幹事報告 / 吉野 英樹君

１．来信

■ガバナー事務所

・ガバナー総合事務所開設のご案内
・クラブ活性化ラーニングＷｅｂセミナー
　開催日変更のご案内
　８月２日（日）⇒８月９日（日）
・ロータリー文庫からのお願い
・Ｒ奉仕デー 環境美化プロジェクト
　ロータリー環境保全事業へのご協力のお願い

〒857-0875 佐世保市下京町10-6 太陽アネックスマンション306 号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo.rc@theia.ocn.ne.jp

ニコニコボックス

佐世保RC　会長 納所 佳民様　幹事 指山 立様

香月会長、吉野幹事をはじめ佐世保中央ＲＣ様のますますのご隆盛をお祈りいたします。一年間共に頑張りましょう。

佐世保南RC　会長 下川 弘樹様　幹事 曽和 英徳様

香月会長をはじめ佐世保中央ＲＣの皆様には本年度もよろしくお願い申し上げます。素晴らしい一年になる事を心よりご祈念いたします。

佐世保北RC　会長 小西 研一様幹事 内海 一洋様

2026-2027年度、香月章彦会長、田添直記副会長、吉野英樹幹事の新年度の門出を心よりお祝い申し上げます。小西は所用によりあいにく出席できませんが、今年度が貴クラブにとってますます実り多き輝かしい年度になりますことを祈念しております。

佐世保東南RC　高比良 耕一様

佐世保中央ＲＣの皆様、新年度おめでとうございます。香月会長、吉野幹事、一年間ロータリーを楽しんでください。前年度第６グループガバナー補佐前田眞澄君、また同じく前年度同期でした、直前会長の岡君、馬渡君、一年間大変お疲れ様でした。

会長 香月章彦君、副会長 田添直記君、幹事 吉野英樹君

皆様、こんにちは。本日は、「受け継ぎつなぐ奉仕の和～みらいをみんなでみつけよう～」をスローガンに掲げる、2026-2027年度の第一回例会を迎えることができました。まずは、準備段階から今日に至るまで、多くの皆様にご協力とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。本日は、香月会長より今年度のクラブ運営方針を発表させていただきます。新たな一年のスタートにあたり、会員の皆様とともに実りある活動を築いてまいりたいと考えております。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

前年度　会長 岡 光正君　幹事　馬渡 圭一君

皆様、こんにちは。「もう終わった人の」岡と馬渡です。年度が変わってホッとしております。前年度は皆様、本当にありがとうございました。香月会長をはじめ、今年度の皆様のご活躍をお祈りしております。

前年度副会長　芥川 圭一郎君

佐世保ＲＣ　会長 納所 佳民様 幹事 指山 立様、佐世保南ＲＣ会長 下川 弘樹様 幹事曽和 英徳様、佐世保東南ＲＣ　高比良 耕一様、皆様のご来訪を感謝いたします。

本日の合計	54,000円
本年度の累計	131,000円

本日の卓話

◆ クラブ運営方針 ◆



2026-2027年度　会長　香月 章彦

「受け継ぎつなぐ奉仕の輪
～みらいをみんなでみつけよう～」

本日は、2026-2027年度 佐世保中央ロータリークラブのクラブ運営方針についてお話しします。

1. 国際ロータリーの方針

2026-2027年度のRI会長は、ナイジェリアのオラインカ・H・ババロラ氏です。RI会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。この言葉は、大きな事業だけを意味するものではありません。地域で困っている人に手を差し伸べること、青少年に機会をつくること、会員同士が職業を通じて学び合うこと、国際交流や財団・米山奨学を通じて未来を支えることなど、一つひとつの活動の積み重ねが、持続可能なインパクトにつながります。活動そのものではなく、その活動が誰に、どのような変化をもたらすのかを考えることが大切です。奉仕を受ける人だけでなく、奉仕に関わる私たち自身も成長できる活動を目指したいと思います。

2. 第2740地区の方針

今年度、第2740地区は中島健太郎ガバナーのもと、「夢を語ろう 感動を分かち合おう！～一円融合～」を地区テーマに掲げています。「夢を語ろう」には、ロータリー活動を義務ではなく未来への希望として語り合う思いがあり、「感動を分かち合おう」には、奉仕活動を通じて心を動かされる体験を共有しようという意味があると感じます。「一円融合」は、違いを認め合いながら、一つの輪の中でつながるロータリーらしい考え方です。

地区方針では、前例にとらわれず、成果とインパクトを重視し、寛容の精神と多様性を大切にすることが示されています。また、ポリオプラスソサエティーの会員登録推進も重点的な取り組みです。ポリオ根絶は、ロータリーが世界に示してきた持続可能なインパクトの代表例であり、私たちもその一翼を担っていきたいと思います。

3. 佐世保中央ロータリークラブの運営方針

今年度のクラブスローガンは、「受け継ぎつなぐ奉仕の輪～みらいをみんなでみつけよう～」です。

「受け継ぎ」には、先輩方が築いてこられた歴史と伝統、例会を大切にする姿勢、会員同士の親睦、地域に根ざした奉仕活動、釜山蓮山ロータリークラブや旭川空港ロータリークラブとの交流を大切にしたいという思いを込めています。「つなぐ」には、その良さを守りながら、次の世代、次の活動、次の仲間、そして佐世保の未来へつないでいきたいという願いを込めました。佐世保は人口減少や若い世代の流出という課題を抱えています。ロータリーだけで解決できる問題ではありませんが、青少年に発表の場をつくり、若い人た

ちが地域の大人や職業人と出会う機会をつくることは、小さくても大切な一歩です。「みらい」をひらがなにしたのは、未来を身近で柔らかい言葉として、会員、地域、次世代とともに考えていきたいからです。

4. 例会を大切にするクラブ運営

ロータリーの基本は例会です。例会は、食事の場だけではなく、仲間と顔を合わせ、情報を得て、職業人として刺激を受け、ロータリアンとしての意識を新たにする場です。

忙しい中でも「今日はロータリーに行こう」と思える例会、出席後に「来てよかった」と思える例会を目指します。そのために、SAAの役割は非常に重要です。例会が気品と風格を守りながら、楽しく、秩序あるものとなるよう努めます。礼節と品格があり、その上で笑顔と温かさがある例会を大切にしていきます。

5.クラブ管理

「不易流行」を大切にします。変えてはいけないものは、ロータリーの精神、例会の大切さ、会員同士の友情、地域への奉仕の心、先輩方が築いてこられたクラブの品格です。一方で、情報発信の方法、会員への関わり方、事業の組み立て方、若い世代との接点の持ち方などは、時代に合わせて変えていく必要があります。伝統を守りながら、必要な刷新にも取り組んでいきます。

6. 戦略計画と創立40周年への視点

ロータリークラブは毎年会長が変わりますが、年度ごとに活動が途切れてしまわないよう、創立40周年を見据えたクラブづくりが必要です。今年度だけで完結するのではなく、次年度、次々年度、そして創立40周年へとつながる行動計画と目標を考えていきます。また、定款・細則の見直し、新入会員セミナー、ロータリー情報発表などを通じて、新しい会員がロータリーの楽しさや意義を感じ、「入ってよかった」と思えるクラブづくりを進めます。

7. 親睦と出席

親睦はロータリー活動の土台です。親睦があるから例会に来たくなり、奉仕活動に参加しやすくなり、意見の違いがあっても話し合うことができます。今年度は、会員同士の声掛けを大切にしたいと思います。「最近どうですか」「今日は来られてよかったですね」という一言が、クラブの温かい雰囲気をつくります。式典や懇親会についても、簡素化すべき点を整理しながら、意義あるものにしていきます。欠席が続く会員には責めるのではなく声を掛け、つながりを保っていきたいと思います。

8. 公共イメージと情報発信

広報活動は、今後のクラブ運営にとって非常に重要です。どれだけ良い活動をしても、外に伝わらなければ地域や会員候補者には届きません。今年度は、ホームページのリニューアルを通じて、佐世保中央ロータリークラブがどのようなクラブで、どのような人たちが集まり、地域にどのように貢献しているのかを分かりやすく発信していきます。「このクラブは楽しそうだ」「地域のために活動している」「自分も関わってみたい」と思っていただけるような情報発信を目指します。

9. 会員増強

クラブの活動を次へつなぐためには、会員増強が欠かせません。今年度は純増3名を目標とし、前年度最多の55名体制に戻すことを目指します。会員増強は委員会活動だけでできるものではありません。全会員で情報を共有し、佐世保中央ロータリークラブの雰囲気に合い、ロータリーの価値を共有できる仲間を迎え入れていきたいと思います。また、入会後の研修を通じて、ロータリアンとして活動するための基本を学ぶ機会も大切にします。

10. 職業奉仕

ロータリーの大きな特徴は、職業人の集まりであることです。私たちは、それぞれの職業を通じて社会に関わり、地域を支えています。今年度は、会員同士が職業を通じて交流し、相互理解を深めるとともに、次世代に向けた職業理解の機会づくりにも取り組みたいと考えています。

佐世保の若い世代に、「佐世保にはこんな仕事がある」「佐世保で働くことにも魅力がある」と感じてもらえるきっかけをつくることは、スローガンに込めた「みらいをみんなでみつけよう」という思いにもつながります。

11. 社会奉仕と青少年奉仕

社会奉仕では、これまでの取り組みを大切にしながら、地域社会との連携・交流を進め、青少年奉仕委員会とも連携して事業を行います。

青少年奉仕では、地域の青少年の健全な成長と将来のリーダー育成を目指し、学校や地域団体と連携しながら、社会性や職業観を育む機会を提供していきます。佐世保の人口減少や若い世代の流出という課題に対して、私たちができることは小さな一歩かもしれません。しかし、高校生の音楽発表の場、特別支援学校との関わり、市民交流会、地域団体との連携などは、若者が佐世保に居場所や希望を感じるきっかけになると思います。青少年は地域の未来です。佐世保中央ロータリークラブらしい地域奉仕の形をつくっていきます。

12. 国際奉仕と釜山蓮山ロータリークラブとの交流

昨年度、35周年を機に新たな姉妹クラブ締結を行いました。今年度は、その後の最初の年度として、釜山蓮山ロータリークラブとの友情をさらに深めていきたいと思います。今年度は、釜山蓮山ロータリークラブの皆様を佐世保にお迎えします。佐世保の街の良さを感じていただき、佐世保中央ロータリークラブらしい温かいおもてなしをしたいと思います。釜山蓮山ロータリークラブとの交流は、顔の見える国際奉仕であり、言葉や文化の違いを超えて友情を深める、ロータリーならではの大切な財産です。

13. ロータリー財団・米山奨学・ポリオプラス

「寄付」は「お願い」として受け止められがちですが、その先にある意味を共有することが大切です。

ロータリー財団への寄付は、世界のどこかで水、医療、教育、平和を支える力になります。米山奨学への寄付は、日本で学ぶ留学生を支え、将来、日本と世界をつなぐ架け橋となる人材を育てます。

また、ポリオプラスへの取り組みは、ロータリーが世

界に示してきた最も大きなインパクトの一つです。今年度は、寄付を金額の話だけで終わらせず、その意味とロータリーが世界で果たしている役割を共有していきます。

14. 結び

ロータリーは、単なる奉仕団体でも、単なる親睦団体でもありません。職業人が集まり、友情を深め、学び合い、地域と世界に奉仕する団体です。

一つの例会、一つの声掛け、一つの奉仕事業、一人の若者との出会いが、いつか佐世保の未来につながるかもしれません。

今年度、私たちは佐世保中央ロータリークラブの歴史と伝統を受け継ぎ、その奉仕の輪を、次の世代へ、地域へ、そして佐世保の未来へつないでいきます。

「受け継ぎつなぐ奉仕の輪～みらいをみんなでみつけよう～」

会員の皆様とともに、明るく、楽しく、佐世保中央ロータリークラブらしい一年をつくってまいります。一年間、どうぞご指導、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上、2026-2027年度 佐世保中央ロータリークラブのクラブ運営方針とさせていただきます。

memo